

門別図書館郷土資料館から 主催事業のお知らせ

門別図書館郷土資料館からのお知らせ



●図書館ミニギャラリー

第2回「菱沼輝（ひしぬまでらし）版画展」開催中

画家竹久夢二の次男竹久不二彦氏から版画の手ほどきを受けた菱沼輝（日高町字緑町在住）さんは、日本各地を旅行し、神社仏閣や歴史的な町並みなどたくさんの版画作品を創作しています。今回は『旅の記録～菱沼輝版画集』から、よりすぐりの原画8点を展示しています。

期 間： 9月19日（日）まで

《お問い合わせ》

門別図書館郷土資料館

電話

01456-2-3746

●第4回オペラを楽しむ～「マノン」（マスネ作曲）

オペラの映像鑑賞をお楽しみください。

日 時： 9月16日（木）午前10時10分から

（上映時間は2時間44分です。）

対 象： 一般

参加費： 無料

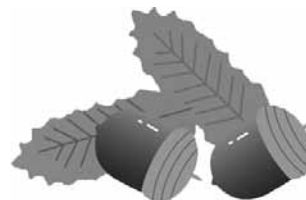
※事前の申込みは不要です。当日会場へおいでください。

【開館時間・休館日は、イベント情報欄をご覧ください。】



「秋の里平山登山」開催します。

- 日 程 平成22年9月23日（木）祝日
5：30 里平生活センター集合 11：30 里平山到着予定
5：40 ミーティング 12：30 里平山出発予定
6：30 林道終点出発 16：00 里平生活センター到着予定
10：00 樺司山到着予定
- 参加資格 中学生以上で体力に自信のある方。
- 募集人数 定員30名（先着順）
- 申込期間 8月26日（木）～9月16日（木）
- 申込方法 電話連絡（氏名、性別、生年月日、郵便番号、住所、電話番号）による受付。
- 申 込 先 日高町立門別図書館郷土資料館
〒055-0004 沙流郡日高町富川東1丁目3-1
電 話：01456-2-3746
ファックス：01456-2-3711
- 参 加 料 700円（保険料等）
- 主 催 里平の自然に親しむ会
- 協 力 日高町立門別図書館郷土資料館
- 後 援 日高町教育委員会
- そ の 他 雨天の場合は中止となります





「日高の地質を歩く」開催しました。

日高の地質を、専門家の解説のもと見学！

7月4日にネイチャーセミナー第2回「日高の地質を歩く」を開催しました。珍しい日高の地質スポットのなかから、比較的移動しやすい数箇所をバスで移動し、専門家の加藤孝幸氏がそれぞれの地点で解説を行ない、見学するというスタイルでした。

参加者は町外の方が多かったのですが、“新たな知識が加わった”“知識がより深まった”“このような見学会は、そこにしかないものを感じることができる。ぜひ広く周知して欲しい”という感想も多く聞かれました。

ただ、珍しい日高の地質は、珍しいがゆえ複雑でもあるということで、未だ研究途上の部分が数多く残っています。そういった複雑な部分もわかりやすく解説することができれば、参加者の層を広げることができ、日高の地質の魅力を広く周知できると考えています。最後に、岩内岳の採石場への立ち入りを許可していただいた株式会社ハタナカ昭和のみなさま、ありがとうございました。



日高山脈ネイチャーセミナー 2010 第4回「秋のペンケヌーシ岳を登ろう」9月26日開催予定！
くわしくは山脈館まで！

特集 『ジオパーク』 ②

ジオパークの基盤は地質や岩石

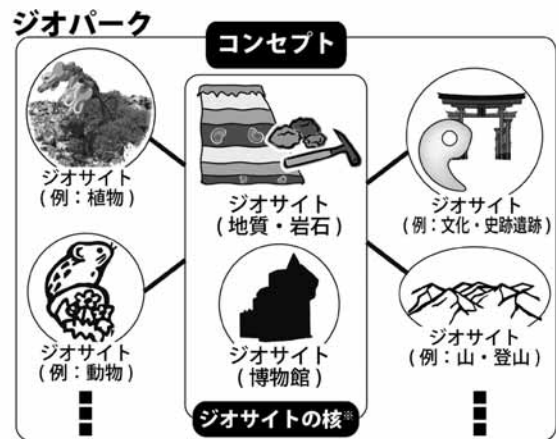
言うまでもなく、ジオパークのベースは「地質」や「岩石（石ころ）」です。なぜなら、多くの自然や動植物、そして文化でさえも、地球の表面＝地面に根付いているものであって、地面を構成するものが、岩石や地層だからです。しかも、それらは地質や岩石と大きくかかわり合っています。まさに、ジオパークと地質や岩石（石ころ）は切り離せないものであるのです。

植物は動くことができないので、生えている場所の地質や岩石に大きく影響されます。たとえば、かんらん岩や蛇紋岩の見られる地域には特有の植生があります。ジオパークとなっているアポイ岳はかんらん岩でできていて、その植生はたいへん特殊なもので、国の特別天然記念物にも指定されています。しかし、かんらん岩・蛇紋岩地域の植生が他地域と違うことは、かんらん岩・蛇紋岩地域の研究者やそこに住んでいる人は知っていますが、それ以外ではあまり知りません。

また、登山を趣味としている人は、同じ高山でもコマクサの生えているところと生えていないところがあることを知っています。たとえば日高山脈では、ペンケヌーシ岳にのみ生えていて、ほかの山では見かけないことを知っている人は多いです。しかし、その違いが山を形成している岩石に左右されるらしいことを知っている人は多くありません。また、高山植物が崖錘の多い地形によく見られることを知っている人も多くはありません。

植物や動物が好きで山歩き里歩きをする（エコツーリズムといいます）人も多いです。この人たちが「ジオ（地質や岩石）」の知識を持つことで、エコツーリズムとジオを結びつけることができます。昨年は「日高山脈の登山とその地質」というテーマで講演もさせていただきました。「エコツーリズム+ジオ」という動きを起すことによって、より多くの人にジオの魅力を伝えられるのではないかと考えています。

(次号に続きます)



※ジオパーク運営の中心組織ではありません。